

自治体肝炎ウイルス検診（検査）陽性者のフォローアップ状況とその実態

研究分担者：横須賀 収 独立行政法人 地域医療機能推進機構 船橋中央病院
研究協力者：是永 圭子 独立行政法人 地域医療機能推進機構 船橋中央病院

研究要旨：ウイルス肝炎はわが国の国民病と位置づけられ、様々対策により、未受検者は約 77 万人に減少した一方で、約 53～120 万人が陽性と知りながら受診していないと推測されている。平成 26 年に重症化予防事業の一貫として、自治体主体で行われる肝炎ウイルス検診（検査）陽性者を専門医へ受診させ、受療や継続受診をされるフォローアップ事業が開始しているが、フォローアップ率は明らかではない。本研究では、自治体の肝炎ウイルス陽性者の実態調査を行うことで、フォローアップ事業の問題点を抽出することを目的とする。

A. 研究目的

ウイルス肝炎はわが国の国民病と位置づけられ、約 350 万人のキャリアが存在すると推定されている。平成 14 年度から行われた老人保健法（現在健康増進法）で主に国民保険加入者を対象者として開始された市町村主体の肝炎ウイルス検査受検率は約 20%に留まり、未だに約 77 万人が未受検、更に約 53～120 万人が陽性と知りながら受診していないと推測されている。平成 26 年に重症化予防事業の一貫として、自治体主体で行われる肝炎ウイルス検診（検査）陽性者を専門医へ受診させ、受療や継続受診をされるフォローアップ事業が開始、初回精密検査費用の無料化、定期検査助成にて医療費を補助することで、肝炎ウイルス陽性者を長期間フォローアップするように努めているが、医療従事者の検査助成制度の非認識、手続きの煩雑さ等で十分に利用されているとはいえない。

本研究では、自治体の肝炎ウイルス陽性者の実態調査を行うことでフォローアップ事業の問題点を抽出することを目的とする。

B. 研究方法

自治体肝炎ウイルス検診（検査）陽性者の肝臓専門医療機関受診率

平成 26 年重症化予防事業の開始とともに、フ

ォローアップを開始した A 県で陽性者の専門（指定）医療機関受診率を調査し、その問題点を解析する。

C. 研究結果

A 県では平成 28 年度で陽性者に対するフォローアップ事業を市町村の約 90%が施行、また来年度予定とされ、フォローアップ事業に同意した陽性者中の 52%の受診確認に成功していたが、同意率は 25%に過ぎず、受診率把握率は 11%であった。更に同意率が 1～90%と地域によって格差が確認された。（下図）

市町村名	検査	follow up	陽性者	同意数	コメント
	無料	はい	118	1	医師が同意 自治体は同意者のみ受診勧奨
	無料	はい	97	10	医師が同意 自治体は同意者のみ受診勧奨
	無料	はい	96	25	自治体が郵送で説明 25名には再勧奨（保健師）
	無料	はい	41	10	
	無料	はい	30	28	医師会と自治体が連携 検査説明確認し委託料
	無料	はい	27	7	陽性者から連絡があった場合のみ受診勧奨
	無料	はい	14	2	
	5歳毎	はい	12	7	
	有料	はい	11	9	検査期間が限定 陽性者に保健師が個別対応

D. 考察

自治体の肝炎担当部署の対応、再勧奨の有無、検査委託医療機関での事業に対する認知度の低さ、陽性者自身も専門医受診を拒否、高齢者も多く事業説明が理解しにくい等、様々な要素があるため指標作成を難しい。平成 30 年度から、フォローアップ事業に対する同意は、陽性

時ではなく、検査受検時（問診時）に行って良いことが明確に記載されたため、同意書を変更することが一考される。

一方で多くの陽性者への専門医受診勧奨は可能となる一方で、対象者が増加し自治体への負担は増加する可能性もあり、医療関係者との連携が更に、重要となる。

E. 結論

自治体肝炎ウイルス検診（検査）や手術・検査時に行う肝炎ウイルス検査陽性者の受診状況確認の調査を行った。様々な要因があり100%受診確認することは不可能であるが、問診時にフォローアップ事業への同意書、陽性者には検査医が専門医受診を文章で説明することが、今後肝炎ウイルス陽性者が正しい受療へと導かれると推測された。

F. 健康危険情報

なし（総括研究報告書にまとめて報告）

G. 研究発表

1. 発表論文

Ogasawara S, Chiba T, Ooka Y, Kanogawa N, Motoyama T, Suzuki E, Tawada A, Nagai K, Nakagawa T, Sugawara T, Hanaoka H, Kanai F, Yokosuka O. A randomized placebo-controlled trial of prophylactic dexamethasone for transcatheter arterial chemoembolization. *Hepatology*. 26. 2017 impress doi: 10.1002/hep.29403.

2. 学会発表

浅野公将、加藤佳瑞紀、横須賀 收 他 当院におけるC型肝炎患者(HCV)患者の拾い上げ
第42回日本肝臓学会西部会 福岡
11月 2017年

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし